

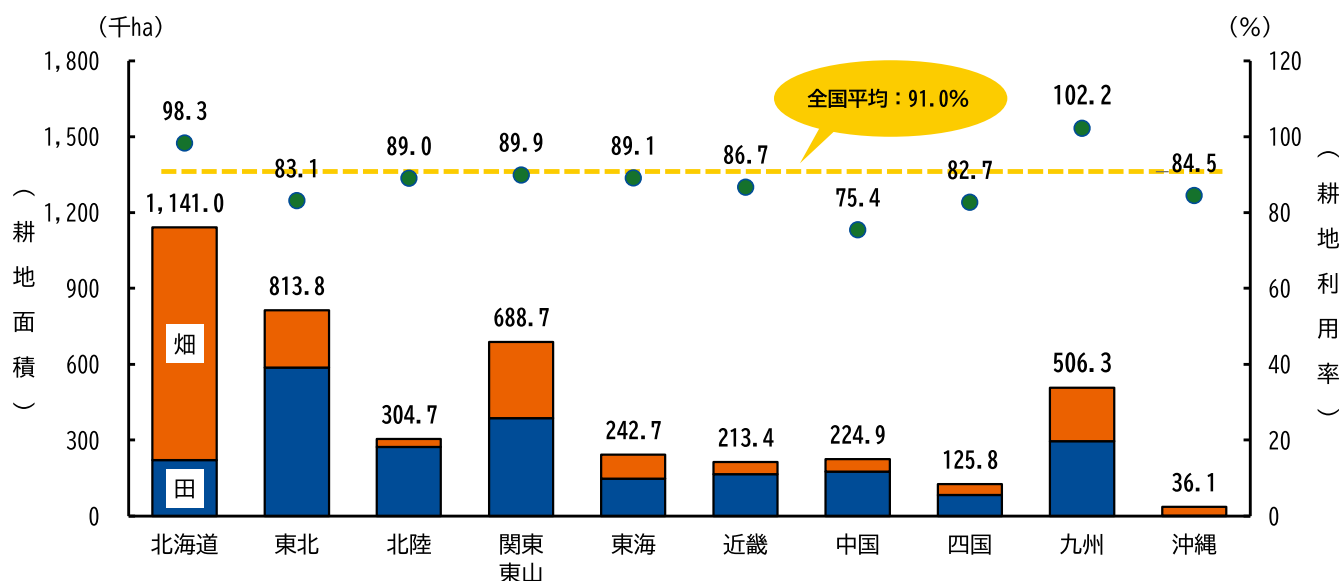
2. 耕地面積 - Cultivated Land Area -

九州の耕地利用率は全国で最も高い水準。

令和5年における九州の耕地面積は506.3千ha（田：295.8千ha、畑：210.5千ha）で、全国の11.8%を占めています。

また、耕地利用率は102.2%で、全国平均（91.0%）を大きく上回っていますが、これは他の地域に比べて二毛作が盛んに行われているためです。

農業地域別 耕地面積及び耕地利用率（令和5年）



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」（以下同じ）

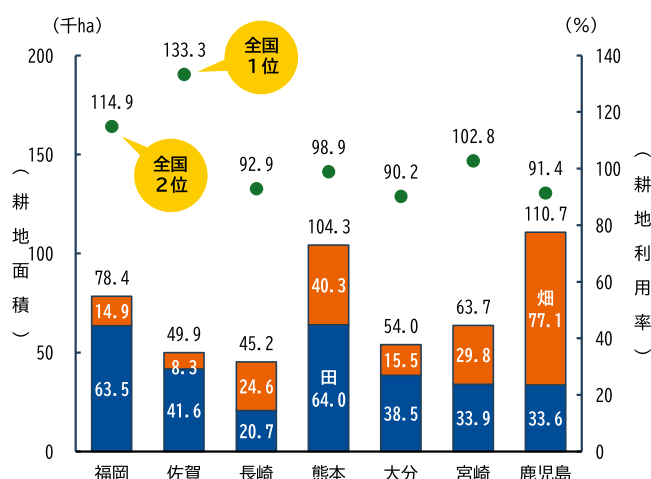
注：耕地利用率とは、（1年間の作付延べ面積÷耕地面積）×100%で算出し、この割合が高いほど耕地を有効利用しているといえます。

高い耕地利用率の一方で、耕地面積は減少傾向で推移。

九州各県の耕地利用率を見ると、6県が全国平均（91.0%）を上回っており、佐賀県については全国1位の利用率となっています。

一方で、かい廃面積が拡張面積を上回る状況が続いており、九州の耕地面積は15年前に比べ57.5千ha（10.2%）減少しています。

九州県別 耕地面積及び耕地利用率（令和5年）



耕地面積及び拡張面積・かい廃面積の推移（九州）

